

人権保育専門講座7

外国人のキャリア形成について考える

～やさしい日本語を活用して理解と笑顔を増やしましょう！～

公益財団法人三重県国際交流財団（MIEF）

筒井美幸さん

人権保育専門講座7では、公益財団法人三重県国際交流財団の筒井美幸さんをお招きし、「外国人のキャリア形成について考える」～やさしい日本語を活用して理解と笑顔を増やしましょう！～と題してご講演いただきました。鈴鹿、松阪、津の3会場で42名の方に参加していただきました。



～筒井さんのお話より～



1. 三重県の外国人住民の現状

安心で安全なくらしや質の高い教育、整備された社会システムなど、日本で暮らすなかで得られる生活への満足感から、永住や定住をのぞむ人が増えています。

【外国人住民数の推移】 25年度まで減少傾向だったのが**26年度増加に！**

※ 在留外国人統計（法務省入国管理局）

http://www.moj.go.jp/housei/toukei/toukei_ichiran_touroku.html

※ 県内外国人住民数（三重県多文化共生課）<http://www.pref.mie.lg.jp/TABUNKA/HP/>

【外国人住民の日本にたいする評価】

毎日の暮らしが安心・安全、質の高い教育、整備された社会システム etc.

しかし一方で、外国人住民の権利が十分に保障されておらず、まだまだ、さまざまな課題が存在しています。

【多くの課題を抱える外国人住民】

外国人住民が抱える3つの課題：「**ことばの壁**」「**制度の壁**」「**こころの壁**」

2. キャリア形成について考える

～外国人住民の思い（平成26年度松阪市地域国際化推進会議より）～

- 日本語を学んでいる子どもは夢を持っている。“サッカー選手になりたい！”
“英語の先生になりたい” この子たちの夢がかなう街になってほしい。
- “私は〇〇会社で、お給料は〇〇円で正社員として働いている、ということを後輩たちに大きな声で言えるような時代が来ないといけない。
- 納税者になりたくても“外国人”という理由で雇ってもらえない。せっかく大学を卒業しても地元での雇用がなく、他市や他県へ人材が流出している。
- 高校を卒業できない子どもがいる。親が辞めさせてしまう。なぜなら、高校を卒業しても正規に雇用してもらえずアルバイトになるなら高校へ行く意味がないと考える親がいるから。
- 日本語ができない、漢字が読めない、書けないから雇ってもらえない。
- 外国人のイメージが悪くなっている。何か問題があると全員同じようなイメージでとらえられるのが残念。一人ひとり違うはずなのに。
- 今後、無年金者や生活保護世帯が増えることが予想される。

定住外国人は地域の担い手として社会で活躍すべき存在です。外国につながる子どもたちも、高校・大学を卒業して就職するサイクルが必要です。日本において人口減少が続くなか、さまざまな人が連携し地域を担う必要があります。そのためにも、外国につながる人の能力を引き出し育てる必要があります。

特に、外国につながる人の日本語力や学力をどのようにつけるか。今の就労状況を改善する必要はないのか。地域参画できているのか、また、地域にその受け皿はあるのかという視点で取組を見直す必要があります。さらに、直面する困難は、学力の問題だけではなく偏見や思い込みなど『こころの壁』が作りあげる場合が多いのではないかと振り返ってみましょう。



定住外国人を地域の担い手に！



3. やさしい日本語を作る、使ってみよう！

このような課題を克服していくために、私たち一人ひとりが現場でできることについて、具体的な事例をもとにお話しいただきました。

そのなかで、外国につながる人とコミュニケーションをとるために、伝えたいことを「やさしい日本語」に「翻訳」することに挑戦しました。実際のおたよりや面談などで伝えることの多い内容を「やさしい日本語」に書き換えてみるワークをとおして、「ことばの壁」を解消するためには、「こころの壁」を取り除き、「何とかして伝えたい」「何とかしてつながりたい」という気持ちが大切であることに気づくことができました。

この「やさしい日本語」は阪神淡路大震災の時に外国につながる人に必要な情報が伝達されにくかったことを反省し、弘前大学が中心となって考え出されたものです。現在では「やさしい日本語」でのパンフレットの作成などで三重県内でも広く活用されています

これから紹介するのは、参加者のみなさんが実際に「翻訳」した文書の例です。「やさしい日本語」はあくまでも例示ですが、参考になると思うので活用してください。

お便り文の例その1

食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋・・・。

本格的な秋の訪れを存分に楽しんでいる子どもたち。昼夜の気温差がある季節でもあるので、健康面には十分に気を付けていきたいと思います。



「やさしい日本語」で伝えると・・・

あきは くだものや たべものが おいしいので たくさん たべます。また すずしいので スポーツをしたり ほんを よむのも たのしいです。

でも、よるとひるの おんどがちがいます。 こどもたちが かぜをひかないよう けんこうに きをつけています

お便り文の例その2

日に日に外の寒さが増す中、ぽかぽか暖かいお部屋の中でお遊戯会に向けた練習を少しずつ開始しています。運動会同様一人一人目標をたて、成果を発揮できるように職員と子どもたちで丸となって取り組んでいこうと思います。どうぞ、お楽しみに！



「やさしい日本語」で伝えると・・・

さむいですが、こどもたちは あたたかい へやのなかで おゆうぎかいの れんしゅうをしています。うんどうかいと おなじように、もくひょう をきめて こどもも せんせいも がんばって れんしゅうしています。おゆうぎかいを みにきてください。

お便り文の例その3

今年もインフルエンザの流行の季節がやってきました。集団生活の場である保育園では感染をしてしまいがちです。できるだけ感染を最小限に抑えることや症状を軽く済ませるためにも「予防注射」が効果的です。お子様の体調を見て、予防接種をすることをお勧めします。



「やさしい日本語」で伝えると・・・

ふゆは インフルエンザ になるひとが たくさんいます。ほいくえんは たくさんこどもがいるので うつりやすいです。予防接種（よぼうせっしゅ）をうけると インフルエンザ になりにくいです。また、インフルエンザ になっても かるくすむことが おおいです。よぼうせっしゅは 〇〇円です。びょういんで うけてください。

公的な文書の例

平成28年1月からマイナンバーの利用が始まります。マイナンバーは、国の行政機関や地方公共団体などにおいて、社会保障、税、災害対策の分野で利用されます。



「やさしい日本語」で伝えると・・・

2016ねん1がつから マイナンバー がはじまります。ほけんや ぜいきん、じしんがおきたときに つかいます。たいせつな ばんごうです。 いえに マイナンバー がとどいたらたいせつに のこしておいてください。

(封筒)



(通知カード)



園からの指示・お願い文書の例その1

保育所では、学校保健安全法に準じて下記の病気については治癒証明が出るまで保育所を休んでいただいております。医師の治癒証明をけんこうカードに記入してもらってから登園してください。

医師の治癒証明が必要な病気

- | | | |
|--------------|------------------|-------------|
| ・麻疹（はしか） | ・水痘（水ぼうそう） | ・風しん（三日ばしか） |
| ・百日咳 | ・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ） | ・インフルエンザ |
| ・咽頭結膜熱（プール熱） | ・流行性角結膜炎 | など |



「やさしい日本語」で伝えると・・・

つぎのびょうきのひとは、びょうきがなおるまで **ほいくえんを やすんでください**。ほうりつで **きまっています**。びょうきがなおったら **「けんこうカード」に、「治癒証明（ちゅうめい）」を かいてほしいと、おいしゃさんに たのんでください**。

おいしゃさんの 治癒証明（ちゅうめい）が ひつようなびょうき

- | | | |
|---------------------------------------|--|----------------------------------|
| ・はしか（ <small>ましん</small> 麻疹） | ・みずぼうそう（ <small>すいとう</small> 水痘） | ・ふうしん（ <small>みつか</small> 三日ばしか） |
| ・ひゃくにちげき（ <small>ひゃくにちげき</small> 百日咳） | ・おたふくかぜ（ <small>りゅうこうせいしかせんえん</small> 流行性耳下腺炎） | ・インフルエンザ |

園からの指示・お願い文書の例その2

当園の平常保育終了時刻は午後6時となっており、午後6時より午後7時までの間は延長保育とし、希望される方のみの保育とさせていただきます。つきましては、延長保育を希望される方は、申込書（園保管）に必要事項を記入の上、提出してください。

延長保育利用料は次のとおりです。月額〇〇〇円、日額〇〇円

※日額で希望される方につきましては、申込書にて申し込んでいただく必要はありませんが、利用されるときは事前にご連絡いただきますようお願いいたします。お迎えのときに申込書への記入、料金の支払いをお願いします。



「やさしい日本語」で伝えると・・・

ほいくえんに **ごご6じからごご7じまで まいにち こどもを あずけたいひとは、「延長保育（えんちょうほいく）申込書（もうしこみしょ）」を かいてください**。おかね（延長保育利用料（えんちょうほいく りょうりょう））は、**1かげつ 〇〇〇円**です。

ときどき **あずけたいひとは、いつあずけるか はやく おしえてください**。おむかえのとき、「延長保育（えんちょうほいく）申込書（もうしこみしょ）」を **かいて、おかねを はらいます**。1日、〇〇円です。

園からの指示・お願い文書の例その3

保育料につきましては、保護者世帯の前年度分所得税額及び前年度市町村民税額等に基づき算定していますが、平成26年分の源泉徴収票や確定申告書の控えなどをご提出いただいていない方につきましては、やむを得ず平成25年分の所得税額等により仮に算定した保育料で決定しております。



「やさしい日本語」で伝えると・・・

2016年へのほいくりょうは、2015年に はらった ぜいきんのがくで けいさんします。2015年の 源泉徴収票（げんせんちょうしゅうひょう）や 確定申告書（かくていしんこくしょ）のかみを だしてないひとは 2014年に はらった ぜいきんのがくで けいさんします。

～やさしい日本語を作るポイント～

（1）文の構造について

- 単文、短文で表記する
- 主語、述語、目的語を明確にする
- キーワードとなる言葉をはじめに書く
- 箇条書きにするとわかりやすい



（2）語彙や漢字について

- 日本語能力試験の初級レベル（N3, N4）を用いる
- 漢字は少なくし、ルビを振る

（3）余白について

- 文節ごとに分けて書く

やさしい日本語に書き換えるときの留意点

- 1 「です」「ます」形を使う
- 2 日常よく使われる語彙を使う
- 3 わかりにくい言葉は、説明や言い換えを付け加える
- 4 カタカナで表記する外来語は、なるべく避ける
- 5 二重否定は使わない
- 6 文末表現は単純にする
- 7 あいまいな表現は避ける
- 8 尊敬語、丁寧語は使わない

「外国人にやさしい日本語表現の手引き 2006」埼玉県総合政策部国際課より



やさしい日本語のメリット

- ❖ 外国人だけでなく、誰にもわかりやすくなる
- ❖ 通訳・翻訳しやすくなる ⇒伝えたいことが伝わりやすくなる
- ❖ 外国人とのコミュニケーションにためらいや抵抗感がなくなる
- ❖ 保護者と直接話ができるようになる ⇒双方が聞こうと努力することでコミュニケーション力があがる
- ❖ ひらがなや単語を多く使うことで、外国人の“わかった！”という実感が増え、日本語学習意欲につながる

5. 最後に・・・ 保育士のみなさんへ

- ★ 自分の保育に自信をもつ
- ★ 保護者に自信をもって接する
- ★ 保護者や子どもの間違いを認める（責めない）⇒正しいことを教えてあげる
- ★ 外国につながる子どもたちが自信をもてるように...
- ★ 先生が意見交換、情報交換できる場をもつ／作る

“笑顔が心をつなぐ” ⇒ 今していることを “笑顔で続ける”

参加者の声から

- ・今の外国につながる人の状況がわかり、今後も安心して三重県で生活してもらえるよう、今、私たちがすることを見直すことができました。幼児期につける力をしっかりつけ、高校生となり、無事卒業や就職ができるような支援や取組をしていきたいと思えます。「やさしい日本語」のつくりかたを教えていただいたので、今後の保育に役立てていきたいと思えます。
- ・外国につながる人だけではなく、だれに対しても相手の気持ちにたつということを忘れてはいけなかったと思いました。鈴鹿は外国につながる人がたくさん住んでいます。外国につながる人が多いということは、お互い分かり合える機会が増えとても幸せなことだと思えました。「ここがいい」「ここでずっと住みたい」と思えるような人、場所にしていきたいです。
- ・「やさしい日本語」を教えていただき、相手の立場にたって考えていくことの大切さを感じました。しんどい思いをされている方々の思いに寄り添い、「あの先生に話してみよう」と感じてもらえるような保育士になりたいと思えました。
- ・外国につながる子どもが多くなるなか、保育士がかかわることの必要性や重要性に気づくことができました。日本で共に歩いていただくために、必要な支援を積極的にできる一人になっていきたいと思えました。子どもは平等です。幸せに豊かに成長していかれることを願い、できることを努力していこうと思えます。

